

ハイデルベルク短期滞在を終えて

物理学専攻 博士課程3年 佐藤 有

平成26年8月14日から28日まで ALPS 海外派遣制度(短期)を利用してドイツのハイデルベルクにある Max-Planck-Institute に滞在を行った。高エネルギー宇宙物理学における非熱的現象と宇宙線加速の理論研究を行っている Dr. Aharonian と議論を行い、今後の研究の展望についても話し合いを行うことができた。現在の宇宙物理学は多波長の大規模観測と理論モデリングの2本柱を基調とした応用物理的側面が大きく、観測事実に対して理論研究家と密に連携して論理的整合性を求める議論と研究へのフィードバックは非常に有益であることを改めて実感した。最終的に非常に興味深い新たなターゲットについてこれからも連携して研究を推進していくことを確認した。滞在中は気候もおだやかで、長閑な研究環境もあり集中して研究に取り組むことができた。このような貴重な経験に対して支援を頂きました ALPS 関係者様、ホストである Dr. Aharonian 及びスタッフの皆様に感謝をします。



左: 研究所正門前にて 右: 所内に展示されているHESSチェレンコフ望遠鏡のミニチュア